第２期子どもをみんなで育む計画の進行管理（アウトプット評価）に対する意見・質問

事業番号	事業番号・事業名	意見・質問概要	担当課
1	子育て及び家庭教育情報の提供	ながれやま市子育てちゃんねるの登録者の割合（子育て世帯に対して）はどのぐらいなのでしょうか。具体的に教えていただければと思います。	子ども家庭課
1	子育て及び家庭教育情報の提供	ながれやま市子育てちゃんねるの対象者数と登録者数を教えてください。	子ども家庭課
2	子育て支援総合窓口事業	転入時保育園・幼稚園に関する案内は一切ありませんでした。出張所では対応していないのでしょうか。私立幼稚園に関し、流山市ではプレ通園が基本のようですが他府県ではそうではないことも。どのような幼稚園か等は各自調べればよいですが、基本情報として教えてほしいと思います。	子ども家庭課
3	子育てガイドブックの発行	新しく発行された子育てガイドブック別冊に一時保育の問い合わせ一覧や時間・料金がまとめられており比較検討しやすくなった。	子ども家庭課
3	子育てガイドブックの発行	年度によって、ガイドブックの配布数にばらつきがあるのはなぜですか？	子ども家庭課
4	各種相談	児童発達支援センターにつながるまで時間がかかる。 健診などで相談をしても様子見、または親が強く希望するのであれば等、消極的な意見が返ってくることも。	児童発達支援センター
6	各種相談の連携	支援内容は満足しているが、他機関との連携しているというところがわかりにくい。健診時　発達に関し質問され療育に通っていることを伝えると、初耳だという反応をとられました。民間の療育に通っている子どもの把握は難しいですが、市の療育に通っている分は最低限把握は必要ではないのか。	児童発達支援センター
7	相談担当職員の充実及び適正配置	市から配布される相談支援事業所一覧がありますが、現在新規受け付けをしていない、または小児の相談を担当できるものがいないといった事業所が複数ありました。情報提供はありがたいが、状況を確認して掲載してほしいと思います。	障害者支援課
10	地域子育て支援センター	保護者から相談を受ける職員への相談支援（スーパーバイザー的な）の場についても、今後の検討課題をしていただければと思います。研修の際に、職員の方々から業務の質を保つためにも自分自身のメンタルを健全に保つための研修や相談支援の場がほしいとの話がありました。	子ども家庭課
10	地域子育て支援センター	生後８ヶ月頃通い始め顔見知りの話し相手ができて孤独が解消された。おもちゃで遊べるまでは勝手に行きづらく感じていたが月齢が低い子（～６ヶ月など）限定のイベントもありもっと積極的に参加してリフレッシュの機会を持てば良かった。	子ども家庭課
11	保育所の多機能化	誰でも通園制度については、保育課の職員の方々が苦労されているのではないかと思います。誰でも通園制度は、保護者のニーズが高いものの、保育所の負担は高く（現時点では）保育の質にもかかわってきますが、このあたりの事情が保護者には理解されていないように感じます。保護者と保育者が相互に納得できる形で通園制度が実施できるように、検討会やワーキンググループを立ち上げるというのはいかがでしょうか。	保育課
19	一時保育	就労のために曜日固定ができるところがありがたい。場所によって規定が違うので家の近くの園は受け入れ人数が少なく希望が通りづらい。せめてリフレッシュの方より優先して予約ができれば。パートタイマーの仕事にも優しい仕組みに改善希望。	保育課
34	妊娠・出産・子育てサポート事業	母子健康手帳交付時面談はつわりが始まっていたが病院からの期日がありみんな通る道だと思って耐えた。市は対面での相談を大事にしていると後に知った。一緒にいただいたファイルの情報量が多く、その時々に必要な事業内容をLINEで簡単に探せるようになればと思った。	健康増進課
34	妊娠・出産・子育てサポート事業	おおたかの森助産院での産後ケアは手厚くどんな小さなことも話せた。何より誰も知らない土地で名前を覚えて温かく迎えてくれる事が嬉しく産後で不安定な自分にとってなくてはならない時間だった。その後は保健師さんの訪問→支援センター等と切れ目ないサポートを感じた。	健康増進課

事業番号	事業番号・事業名	意見・質問概要	担当課
36	乳幼児健康診査	小児科診察を集団健診に含めてもらうことはとても助かります。 障がいや発達の遅れにより眼科・耳鼻科の再検査となり病院に行くが、指さしや言語で意思表示できずこれではわからないと言われ次の病院に回されることがほとんどです。 定型発達児とそうではない子どもを一律対応でいいのか。ただ病院に連れていくということでもハードルが高いです。 発達が遅れてることを説明すると、そうだろうね等差別的な見方をする病院もありました。病気で視力・聴力に問題がある以外にも一定数そうではない子どもがくると認識できているのか。再検査には市と提携した病院しか受診できないのにもかかわらず、こういった病院があることを把握しているのか。	健康増進課
39	健診後のフォロー体制づくり	発達等に心配のあると思われる子の母達の苦しい胸の内を聞くことが多い。市のフォローも受けているとは思うが不安な気持ちは消えるものではないため寄り添う体制はいくらあっても多すぎることはないと感じた。	健康増進課
49	子どもの権利条約・児童憲章の周知・啓発	いじめはもちろん子どもの権利侵害ですが、いじめ以外にも子どもの生活の中で子どもの人権を侵害していることが多々あります。子ども自身が自分に権利があることを知り、それを使って自分を守っていけるようにすることが大切です。大人が擁護することも必要ですが、子ども本人に権利意識が育つような教育が今、求められています。	子ども家庭課
50	指導者の育成	教職員の方が、人権教育に積極的に取り組まれていて、とても期待が持てます。具体的には、どのような研修をどのような立場の人が受けられたのでしょうか？保護者に向けた人権意識を高める工夫について、どのようにしていくか、お話が伺えたらと思います。	指導課
51	相談・カウンセリング	不登校児童生徒や保護者に対してオンラインによる相談体制を新たに整備されたということで、具体的な実践のお話が伺えたらと思います。	指導課
53	保育士研修	具体的にどのような研修を受けられたのですか？	保育課
54	子育て支援員研修	フォローアップ研修参加者から、正職員の保育者との関係に悩む声が寄せられています。保育者との人間関係に悩み、せっかく子育て支援員研修を受講して、保育補助の業務に従事しても辞めていくケースがみられます。支援員研修修了者が継続して仕事を続けられるように、正職員の保育者の方々にも、保育補助の方を単なる業務の補助者として見るのではなく、一緒に働く同僚としての「同僚性」の意識の定着を図っていただければと切に願います。今後の課題として取り上げていただければと思っています。 また、受講者数を増やして保育人材を確保するための方略を検討していただければと思います。	子ども家庭課
55	幼児教育に関する研究・研修	令和7年度から幼保小の職員が交流するための「幼保小連携の日」を市内の小学校で開催し、顔の見える関係づくりを進めることで、幼保小のつながりの構築を進めていきます。と、いうことで、コロナ禍で乳幼児期の生活が以前とは違っていたために起こっている様々な現象がありますから、この取り組みに大変期待しています。	指導課
60	特別支援教育	県外の友人になるが子どもの就学先について悩んでいた。（専門の学校がいいのか）専門家など詳しい方と話せる機会があればもっと解消されたはず。流山市にはサポートがあるようなので大事な支援だと思う。	指導課
66	学童クラブと保育所の交流	保護者の承諾のもと、発達障害や気になる子どもの情報共有・交換のみでもできる方策を検討してみてはいかがでしょうか。校区と通園した保育所が一致しないのであれば、学童専門の巡回相談員を配置している自治体もあるので、そうした相談員を介してなどの方法はいかがでしょうか。難しいのは承知なのですが、何か方法があればよいと考えています。	保育課 教育総務課
67	私立幼稚園への支援	小規模な幼稚園にも要配慮児童が入園するための補助金は行っているのか。	保育課
73	児童館・児童センターの活用	他地域では、児童館が、夕方からの中高生の居場所となってきているところがあります。流山では、そのような取り組みは考えていますか？	子ども家庭課
80	歩道の整備	歩道のタイルが剥がれていたり一部欠けているところに妊娠中つまづきそうになりベビーカーもよく引っかかる。市民が写真付きで知らせることで対応検討してもらえたりするか気になって調べてみたがよく分からなかった。電話だとハードルが高く感じる。	道路管理課
108	障害児保育	保育所等訪問支援の契約者数が少ないのは理由があるのでしょうか。 教えていただければと思います。単純に教えていただきたいのですが、インクルーシブ保育を実施している園は、市内で他にもあると思いますが、統合保育の実施園数が「１」となっているのはなぜでしょうか。「統合保育」という言葉の使用を変えることをご検討いただければと思います。	児童発達支援センター 保育課